

提言背景

企業経営全般の知見と府内中小企業の現場ニーズの理解度を活かし、地域経済活性化に貢献したい。

中小企業の重要性

企業数
99.7%

従業員数
68.8%

付加価値額
52.9%

日本経済、ひいては地域経済の根幹を支える中小企業は、その数において全企業数の99.7%を占め、従業員数全体の68.8%、付加価値額全体の52.9%を創出する極めて重要な存在である。

直面する課題

 地域産業の構造変化
従来型産業から新産業への転換圧力

 高齢化と人口減少
若年層の大都市圏への流出と
技術継承・人材確保の困難

 デジタル化の波
DX推進の遅れと導入コスト負担

 労働生産性の課題
大企業との生産性格差拡大

構造的課題の特徴: 個々の企業の努力だけでは克服が困難であり、行政による戦略的かつ包括的な支援が不可欠

協会提言の目的

大阪府中小企業診断協会のビジョン
「大阪の全ての企業に活力を！」

■目的

中小企業が直面する多岐にわたる課題を克服し、新たな成長機会を確実に掴むための具体的な支援策について、大阪府に提案するものである。

■特性

- ・ 企業経営全般にわたる深い知識を持つ専門家集団
- ・ 府内中小企業の多様な特性や現場のニーズを深く理解
- ・ 大阪府との緊密な協働による地域経済活性化を推進

提言の方向性

1. 大阪府の中小企業の協業機会拡大
2. 大阪府独自の政策空白帯への支援増
3. 大阪府の支援体制の認知度向上

この提言が、大阪府の中小企業支援戦略をさらに強化し、未来に向けた力強い経済成長を実現するための一助となることを願っている

提言概要

大阪府経済の持続的成長に向けて、協業促進・成長の壁解明と突破・コンセプト浸透について提言する。

提言1

ものづくり中小企業とスタートアップの協業を加速する**戦略的橋渡し支援**の強化



協業促進

戦略的橋渡し支援による協業加速で
地域経済の新たな活力を創出する

協業橋渡し(中小企業診断士)

大阪府の中小企業の協業機会拡大

地域イノベーション創出

提言2

大阪府経済を牽引する**成長志向型中小企業の実態把握と伴走支援**の深化



壁突破

売上高2～10億円層の「成長の壁」
解明による的確な伴走支援の実現

大阪府と当協会の共同調査研究

大阪府独自の政策空白帯への支援増

成長志向型企業の育成

提言3

大阪府を「**企業経営面での総合診療科的機能**」がある街として周知



コンセプト浸透

「総合診療科的機能」のコンセプトで
大阪府の支援体制の認知度向上を図る

中小企業支援コンセプト浸透

大阪府の支援体制の認知度向上

経営相談のしやすい環境構築

大阪府の経済活性化

提言 1：ものづくり中小企業とスタートアップの協業を加速する戦略的橋渡し支援の強化

戦略的橋渡し支援による協業加速で地域経済の新たな活力を創出する



協業促進

大阪府が以下を
事業として行うことを提言する



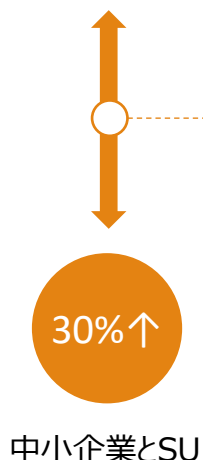
現状

大企業ではスタートアップ(SU)との協業が約60%に
上る一方、中小企業では約20%に留まる。



理想

ものづくり中小企業がスタート
アップの革新的なアイデアや
技術を取り入れ、新たな事業
領域を開拓し、イノベーション
を創出している。スタートアッ
プも中小企業の高度な技術力
を活用し、事業を加速する協
業が活発に行われている。



問題

ものづくり中小企業とSU間の協業が、その大きな
可能性にもかかわらず促進されていない。



原因

1. 接点の不足と「未知の存在」としての認識

中小企業にとってSUとの接点が乏しく、「よくわか
らない存在」と見なされやすくなっている

2. 企業文化・意思決定プロセスの相違

中小企業と、スピード重視のSUでは、企業文化
や意思決定のスピード、知的財産の取り扱いに関
する認識に相違があり、協業の障壁となる

3. 橋渡し人材の不足と育成の困難さ

双方の特性を理解し、技術をビジネスの価値に翻
訳できる「通訳」のような役割を担う高度なスキル
を持つ人材が不足しており、スタートアップ側の
「人手不足」も人材確保を困難にしている



課題・提言

「ものづくり中小企業とスタートアップの協業
促進業務」等での戦略的橋渡し支援の強化

- **協業実現の勘所を提示**
中小企業のSUとの協業への不安を払
拭し、「よくわからない存在」であるSUと
の協業を「具体的な成功イメージ」へと
転換させるために、協業自体に加え、
協業成功の勘所を情報発信する。
- **協業コーディネーター配置**
ものづくり中小企業とスタートアップの
ニーズ掘り起こしから、マッチング、契
約支援、そして協業後の事業化・成長
に至る一貫した伴走支援人材として、
中小企業診断士を「協業コーディネー
ター」として配置する。
- **橋渡し人材の確保・連携体制の構築**
協業支援に特化したスキルセットをも
つ専門人材が不足している現状を踏ま
え、大阪府と大阪府中小企業診断協
会等が連携し、継続的に協業支援に
携われる中小企業診断士を確保する。

提言2：大阪府経済を牽引する成長志向型中小企業の実態把握と伴走支援の深化

売上高2～10億円層の「成長の壁」解明による的確な伴走支援を実現する



現状

売上高100億円企業への支援策はあるが、売上高10億円の壁を突破する支援は多くない。

国の政策

VS

?

100億円突破支援

10億円突破支援

理想

売上高10億円未満の企業が、売上高の壁を乗り越え、持続的に成長できている。そのために、これらの企業の経営者意識、成長ステージごとの具体的な課題、投資意欲、補助金活用の実態と課題が把握されており、それに基づいた伴走支援が提供されている。

成長の壁解明

府独自支援

問題

2～10億円の層の「経営者意識」「投資意欲」「補助金活用課題」に関する実態は、政策立案に必要な粒度で把握されていない。

原因

1. 規模が小さいほど積極的投資に踏み切りにくい
経営者一人体制から、人材確保を伴う組織拡大に向けて進みにくい
2. 既存調査対象企業の売上高の高さ
過去の研究は、売上高10億円以上の企業群に焦点を当てており、より小規模な企業の「成長の壁」の具体的な要因は深く掘り下げられていない
3. 複合的な成長阻害要因の可能性
「成長の壁」は、資金や人材不足だけでなく、「経営者の意識」や「組織体制の限界」に起因する複合的な要因が深く関わっている可能性が高い



大阪府が以下を
事業として行うことを提言する

課題・提言

政策空白地帯の2～10億円の成長志向型中小企業の成長阻害要因把握と支援の強化

- ・「売上帯ごとの経営者意識」に関する共同調査研究実施
2～10億円企業のニーズを細分化し、成長ステージごとの経営課題、投資意欲、補助金活用の課題を深掘りする独自のヒアリング調査を共同で実施する。
- ・売上高帯ごとの特性に応じた伴走支援策の設計
調査結果を大阪府の産業政策に直接反映させ、よりターゲットを絞った伴走支援策を設計する。

売上高帯	成長ステージの課題(仮説)
2～5億円	経営者一人の限界、専門人材不足、組織化の遅れ、新規事業開発の停滞
5～10億円	組織機能の強化、事業多角化の必要性、後継者問題の顕在化、マネジメント層の育成不足

提言3：大阪府を「企業経営面での総合診療科的機能」がある街として周知

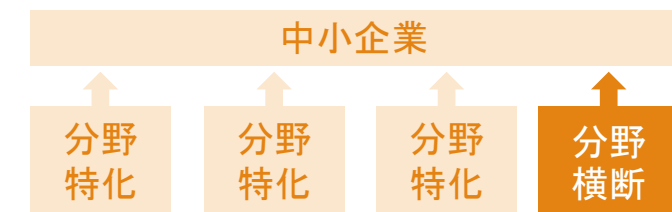
「総合診療科的機能」のコンセプトで大阪府の支援体制の認知度向上を図る



大阪府が以下を
事業として行うことを提言する

現状

大阪府には様々な機関が中小企業を支援しているが、中小企業の『総合診療科』をコンセプトとする機関は、大阪府よろず支援拠点のみである。



理想

大阪府が「企業経営面での総合診療科的機能」のある街として広く認知され、中小企業経営者が迷うことなく、大阪府よろず支援拠点や大阪府中小企業診断協会に相談しており、適切な診断と専門家・専門機関へのスムーズな橋渡しが更に行われている。

「企業経営面での
総合診療科的機能」
のある街・大阪府

中小企業が安心して
成長できる街・大阪府

問題

中小企業診断士の多岐にわたる専門性や、大阪府よろず支援拠点との連携による包括的な支援の価値が、十分に周知されていない。

原因

1. 「未分化な経営問題」を相談できる機会は少ない
多くの中小企業支援機関は相談対象を専門特化しているため、中小企業経営者は困りごとを「未分化な状態」で相談できる機会は少ない
2. 中小企業診断士の役割の限定的な認識

中小企業診断士は、「経営のジェネラリスト」として中小企業の生涯を支えるパートナーとして研鑽を積んでいるが、その価値が十分に伝えられない

3. 総合診療科的機能のコンセプト周知連携不足

大阪府よろず支援拠点が既に「総合診療科的機能」に言及した優れたコンセプトを標ぼうしているものの他の機関が連携するなどし、大阪府とともにこのコンセプトを周知できていない



課題・提言

大阪府・大阪府よろず支援拠点、大阪府中小企業診断協会等が緊密に連携し、「企業経営面での総合診療科的機能」のある街として大阪の中小企業支援の魅力を周知

- ・「総合診療科的機能」のコンセプトを核とした連携体制・ブランディング強化
大阪府よろず支援拠点が既に「総合診療科的機能」を標榜している事実を最大限に活用し、その魅力を広く社会に周知するとともに、大阪府よろず支援拠点等を「連携のハブ」として位置づけ、大阪府中小企業診断協会等が擁する様々な人材を、よろず支援拠点等にて、今以上に活用する。
- ・中小企業経営支援のジェネラリストとスペシャリストを府協会等から紹介
企業の「一生涯」の経営問題に対応できるジェネラリストとしての中小企業診断士や、生成AI、カーボンニュートラル、ウェルビーイングなどの専門領域にも強い中小企業診断士を大阪府中小企業診断協会等から紹介し、このコンセプトの実装を下支えする。